

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
330015	X-21-B-2-330015	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
アメリカ文化論				高橋 康浩	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

#### 授業目的

アメリカ合衆国の歴史を英語文献を通じて、政治、経済、文化等の様々な観点から学ぶ。比較的簡単な英語の資料を多読することによって国際問題に関しての教養を身につけて、異文化理解の精神を育成していく。

#### 各回の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】 授業のやり方の説明 【前・後】 この授業に入る前に大学図書館にて、アメリカに関わる本を一冊選び読んでおくこと。どの領域に関するものでもよい。</p> <p><b>第2回</b> 【授】 ネイティブ・アメリカンの生活と文化 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。配布資料を英語が多くなるので、辞書をよく弾いて単語力を高めるように。2時間程度の学習が望ましい。以下、すべての回にも該当する。</p> <p><b>第3回</b> 【授】 植民地時代のアメリカ：ヴァージニアとニューイングランド 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第4回</b> 【授】 ビューリタニズムの精神 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第5回</b> 【授】 アメリカ独立革命と建国の父たち 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第6回</b> 【授】 合衆国憲法の政治思想 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第7回</b> 【授】 奴隷制と黒人文化 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第8回</b> 【授】 リンカーンと南北戦争 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p>	<p><b>第9回</b> 【授】 戦後の経済発展と社会問題 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第10回</b> 【授】 アメリカ人の自然観 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第11回</b> 【授】 革新主義と政治改革 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第12回</b> 【授】 第一次世界世界大戦と戦間期のアメリカ 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第13回</b> 【授】 世界大恐慌とニューディール政策 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第14回</b> 【授】 第二次世界大戦と戦後のアメリカ 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第15回</b> 【授】 アメリカの民主政治とは何か 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第16回</b> 【授】 試験</p>
--	---

#### 成績評価方法

優れたレポートをポータル等で公表したい。定期試験 60 パーセント、小テスト 20 パーセント、授業態度・参加 20 パーセントで評価する。

#### 教科書・参考書

笹田直人、堀真理子、外岡尚美 編：『概説アメリカ文化史』（2001年、ミネルヴァ書房）

#### 受講に当たっての留意事項

アメリカ文化を学ぶにあたって、わかりやすい概説書として上記の本を読んでみるといういでしょう。せっかく恵まれた図書館があるので、図書館の文献もよく調べて、自分の関心のあるテーマについて研究してほしい。ネットの情報だけで満足してはいけません。それだけでは大学で学ぶ意味がないので。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

#### 学習到達目標

アメリカ文化の学習によって異文化理解の重要性を認識できるようにする。世間に流布している浅薄な考えに流されずに、ものごとを鵜呑みしないで、自分独自の堅固な考え方を身につけるようにする。

#### JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習